

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の構築をめざして！

労働組合
のための

会計税務に係る研修会 10/12 開催

組合費は汗と涙の結晶、正しく処理し正しく執行しよう

福岡県労福協は 10 月 12 日(金)、「労働組合等の会計税務に係る研修会」を福岡市博多区・中小企業振興センターにおいて開催しました。研修会には、統合経営システムパートナー公益法人部部長の藤永哲嗣税理士を講師に招き、県内から 17 団体 27 名の役職員の方が参加され、13 時 30 分から 16 時 30 分まで 3 時間にわたり熱心に受講されました。

主催者挨拶では、福岡県労福協の大原事務局長から「研修会の目的は会計・税務に関する知識を習得し正しい会計処理を行って頂くことが目的であります、一方では、組合費は組合員の汗と涙の結晶です。よって、正しい会計処理と正しく予算執行をすることが大事。また、税務監査が入った場合でも、正しく処理していれば何も心配することはありません。本日は限られた時間ですが、しっかり受講をしていただきたい。」と挨拶がありました。

研修会では、中央労福協が作成した「労働組合等の会計税務に係る実務マニュアル」を中心に、第一部として『公益法人等に対する税務動向』『労働組合の会計と監査』について 70 分の講義がありました。休憩を挿んで第二部では、『労働組合に係る税務』に関して 70 分の講義がありました。休憩時間中でも個別に相談する受講生もあり、講師の方には休憩がなかった様でした。10 分の休憩後、第三部では質疑応答時間を設けました。3 名の方から質問があり、講師の“それはグレーかも”の回答に、質問者も困り果てた顔が印象的でした。質疑応答の後には個別相談会を設け、17 時まで個別相談に対応しました。



受講後の参加者に感想を聞いてみました。ある男性組合役員は「専門用語や税務関係では難しいところもありましたが、講師の丁寧な説明で、少しは理解できたかな!」、また、ある女性職員の方は「借方・貸方の左右が分かりませんでした、『借方』の借りの『り』が左に曲がっているから借方は左側、『貸方』の貸しの『し』が右に曲がっているから貸方は右側、資産・負債の貸借処理の方法など、大変勉強になりました。」との感想でした。

なお、福岡県労福協の大原事務局長は、開催時期について、単産・単組等の大会シーズンになったことに対しお詫びし、次回は開催時期に配慮したいと、反省の弁がありました。

労働組合等の会計税務に係る 実務マニュアル

— 2012年版 —

Ⅰ. 公益法人等に対する
税務動向
Ⅱ. 労働組合の会計と監査
Ⅲ. 労働組合に係る税務
第1. 税務の概要
第2. 事業所得税
第3. 固定資産
第4. 法人税
第5. 消費税
第6. 地方税



労働者福祉中央協議会(中央労福協)

「実務マニュアル」が必要 な方は福岡県労福協まで。

講師の藤永税理士によると、「実務マニュアル」は大変よくまとめられているとのこと。

研修会に参加出来なかった単産・単組等で「実務マニュアル」が必要なところは、福岡県労福協(092-263-3141)迄ご連絡ください。一部 500 円の有料ですが、送料は無料でお届けします。

地域労福協研修会 終わる

メインテーマ

国際協同組合年を考察する



10月14日(日)、遠賀川地域労福協研修会
主催者挨拶を行う高島喜信会長。

福岡県労福協は、年間事業計画に基づき県内7地域労福協の会員等を対象とした地域労福協研修会を9月・10月で開催しました。今年で12回目となる研修会では、2012年は国連が定めた「国際協同組合年」で、国連は、協同組合が地域社会に根ざし、人びとによる助け合いを促進することによって、生活を安定させ、地域社会を活性化させる役割を果たしていると評価しており、中央労福協も国際協同組合年の対応を、“労福協2020年ビジョン”の具体化の一環と位置付け、事業団体・労働団体とも連携して、国際協同組合年の意義、協同組合(労働者福祉事業)の社会的価値のアピールを行い、労働組合と協同組合が「ともに運動する主体」としての関係づくりに踏み出す契機とするため、全国で取り組みを推進することとしています。

福岡県労福協は、前述の主旨・目的にもとづき今年度の地域労福協研修会のテーマを「国際協同組合年を考察する」に設定し、労福協・労働金庫・全労済・生協連の4団体の代表が講師を務め、国際協同組合年に係る課題等を含めて、国際協同組合年の意義や協同組合の社会的価値のアピールを行ったところです。私たちの身近には、労働金庫・全労済・生活協同組合など、労働運動がつくりあげた協同組合があります。協同組合の活動を積極的に推進し、労働者自主福祉のネットワークを更に強化しましょう。

地域労福協名	開催日	参加人員	開催地	講師			
				労福協	労金	全労済	生協連
福岡地域	09/02(日)15:30	27名	筑後市	大原	木村	岩木	宮崎
南筑後地域	09/14(金)18:00	15名	大牟田市	大原	木村	岩木	宮崎
北九州地域	09/24(月)18:00	48名	北九州市	大原	早川	岩木	宮崎
筑紫・朝倉地域	10/09(火)18:00	30名	大野城市	大原	木村	和泉	宮崎
京築・田川地域	10/10(水)18:00	21名	行橋市	大原	木村	岩木	篠田
北筑後地域	10/11(木)18:00	20名	久留米市	大原	木村	岩木	宮崎
遠賀川地域	10/14(日)13:30	36名	直方市	大原	村崎	岩木	篠田



地域だより

～筑紫・朝倉地域労福協～



「列島グリーンキャンペーンを朝倉市杷木町原鶴温泉で開催！」

2011年7月の労福協ニュース113号に登場した「筑紫・朝倉地域労福協」です。今回は、9月9日に開催した連合と共催の「列島グリーンキャンペーン」の報告と地域の見どころ1か所を紹介します。

今年度のグリーンキャンペーンは、九州北部豪雨で大きな被害の出た原鶴温泉一帯で行いました。120名が参加し、筑後川の河川敷や温泉街の中のゴミや空き缶などを拾い清掃を行いました。また、例年行っている抽選会の商品に、地元で採れた農産物を購入するなど、わずかですが地元の支援を行いました。終了後は温泉入浴を行い有意義な一日を過ごしました。



写真は秋の黒門(秋月城の本門)

“秋月”一番の紅葉の名所 秋月城跡

秋月城は、1623年、福岡藩主黒田長政の遺命により、三男長興に夜須郡・下座郡・嘉麻郡の内5万石が分与され、秋月藩が成立した。

城は、1624年に長興によって築城され、現在は長屋門と黒門が当時のまま残っている。周辺は、春の桜や秋の紅葉と四季折々の景観を誇っており、観光客も数多く訪れる場所となっている。

安心・共生の社会づくりに向けて

10月3日／連合・中央労福協主催で開催

連合と中央労福協は10月3日(水)、東京都荒川区「ラングウッドルーム」において「2012 国際協同組合年記念シンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、東京大学の神野直彦名誉教授から「共に生きる社会づくりに向けて～労働組合・協同組合への期待～」と題した基調提起、神野直彦名誉教授と古賀伸明会長との対談、日本生協連・労金協会・全労済の3協同組合から課題提起があり、協同組合が果たす社会的役割について改めて考えるとともに、労働組合と協同組合の連携のあり方など様々な議論が行われました。

また、多くの重要な課題提起がなされ、仲間同士の助け合い・連帯という原点にたつて、非正規労働者や失業者、退職者など、もっとも共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できるようにするためにはどうすればよいのか。貧困の根絶、就労自立支援、社会的包摂、地域づくりなどの分野で社会的役割を発揮していくためには、協同組合と労働組合はどのように協働していくのか。働く仲間の資金を協同組合で循環させ、社会的課題の解決のためにもっと有効に活用すべきではないか。これらの取り組みを労働運動の社会化や組織拡大につなげていかなければならないのではないかと。こうした課題について、できることから一つずつ地域で行動していくことを決意し、成功裡にシンポジウムは終了しました。



第15回連合福岡定期大会／10月29日・都久志会館



大会風景／運動方針を提案する下田事務局長



働くことを軸とする
安心社会をめざして

第13期役員氏名

役職名	氏名	出身産別	備考
会長	高島喜信	J R 連合	専従
副会長	小原和敏	自治労	非専従
〃	西村芳樹	自動車総連	非専従
〃	浅山卓司	UIゼンセン同盟	非専従
〃	田井孝二	電機連合	非専従
〃	品川浩二	基幹労連	非専従
〃	隈上勉	電力総連	非専従
〃	鳥飼公典	J P 労組	非専従
〃	梶原正実	日教組・福教組	非専従
〃	佐藤茂	情報労連	非専従
〃	岩永康志	J R 連合	非専従
〃	佐田正二	私鉄総連	非専従
〃	藤吉眞二	J A M	非専従
〃	太田真由美	日教組・福教組	非専従(新)
事務局長	下田祐二	自治労	専従
副事務局長	上野茂伸	情報労連	専従
〃	遠藤禎幸	基幹労連	専従(新)
〃	青柳豊	電機連合	専従(新)
執行委員	石堂高広	電力総連	専従
〃	松本洋次	私鉄総連	専従
〃	田島令士	自動車総連	非専従(新)
〃	砂長勉	UIゼンセン同盟	非専従
〃	牛島賢治	J P 労組	非専従
〃	尾崎秀人	サービス流通連合	非専従
〃	小川章	フード連合	非専従
〃	田上公康	セラムックス連合	非専従
〃	西田修三	運輸労連	非専従
〃	渡邊修三	日教組・福教組	非専従
〃	谷口謙一	国公総連	非専従
〃	中野隆士	交通労連	非専従
〃	堺一彦	都市交	非専従
会計監査	藤澤秀治	福岡国税	非専従
〃	島村東一郎	サービス連合	非専従

第15回連合福岡定期大会が10月29日(月)13時から福岡市中央区天神「都久志会館ホール」において開催され、2012年度活動報告・決算報告及び2013年度活動方針案・予算案並びに規約改正等が審議され、全ての議案が可決されました。また、役員改選では、会長に高島喜信氏(JR連合)、事務局長に下田祐二氏(自治労)が再選、新副事務局長に遠藤禎幸氏(基幹労連)、青柳豊氏(電機連合)の2名を選出するなど新体制が確立されました。なお、任期は、連合本部と改選時期を合わせることから1年とされました。

大会は、藤吉眞二副会長(JAM)の開会挨拶で幕を開け、議長団を選出した後、執行委員会を代表して高島喜信会長(JR連合)から挨拶。来賓挨拶では、連合本部、福岡県知事、福岡労働局長、民主党、社民党の代表から挨拶があった後、大会次第にそって議事が運びました。

※特別執行委員は除く。

ライフサポートセンター 実務者・相談員研修会 in 福岡

10月22日・23日の両日、山口・九州・沖縄各県のライフサポートセンターの実務者・相談員のスキルアップを目的とした研修会(中央労福協主催)が福岡市中央区天神「アークホテルロイヤル福岡天神」において、関係者29名が参加(福岡から8名参加)し開催されました。

主催者挨拶では中央労福協の山本幸司副会長から「格差の拡大、貧困の固定化、預貯金ゼロ世帯28.8%、一方では企業の内部留保は200兆円超という状況などからして、格差や貧困問題は、自己責任だけではなく、まさに社会の構造的問題であります。そのような情勢の中で、相談事業に携わっている皆さんのご苦勞に敬意を表します。本研修会では、悩みを抱える相談者への確かなアドバイスができるよう、更に技能を高めて頂きたい。」と挨拶がありました。



写真：研修会風景/挨拶する山本幸司副会長



写真：カウンセリングの基本「傾聴」の演習

第一日目は13時開会。日本産業カウンセラー協会九州支部の内田美津子講師から「相談・ヒアリングテクニック」(90分)、同じく大坪正彦講師から「メンタルヘルスケース支援事例の検討」(90分)の講義とグループワーキング。経験交流(80分)では、福岡(鎌田氏)と大分(安岡氏)の相談員から事例報告があり、引き続き意見交換を行い、第一日目は18時20分に終了しました。

二日目は9時開会。福岡県青年司法書士協議会の坂田憲一司法書士から「債務整理・生活保護の法律知識」(90分)、グリーンコープふくおか生活再生相談室の宮崎正義室長から「行政が行う生活支援システムについて」(60分)の講義があり、11時50分、成功裡に研修会が終了しました。

制度・政策要求の取り組み



福岡県平成25年度予算編成に係る要請書を提出

福岡県労福協は11月14日(水)、制度政策要求の取り組みとして「福岡県平成25年度予算編成に係る要請書」を小川洋福岡県知事へ提出しました。

要請書手交式には、労福協側から高島会長、山城副会長代行、大原事務局長、連合福岡・遠藤副事務局長、全労済・岩木専務執行役員、福岡県生協連・宮崎会長理事の6名が出席しました。また、連合議員懇の原竹県議と原田県議にも同席を頂きました。福岡県側は小川知事、家守労働局長、竹野労働政策課長が応対されました。



労福協側を代表して挨拶する高島会長

大原事務局長の司会で開会し、労福協側の自己紹介を行った後、高島会長から「貧困と格差が広がり、人と人との繋がり・絆が失われようとしている今、私たちはもう一度初心を思い起こし、県民の共感を呼ぶ社会運動を展開することが重要であるとの認識に立ち、これからも取り組みを強化していきたい。」と挨拶を行いました。その後、高島会長から小川知事に対し要請書の手交を行いました。

小川知事から「国内外の情勢は厳しい。現在、経済指標を含めあらゆる指標に注視しながら、県民の安心・安全・安定をめざして頑張っているところです。要請内容は担当部局で十分検討し、県政に反映していきたい。」とコメントがありました。その後、若干の懇談を行い手交式は終了しました。

2012年度上半期「ライフサポートふくおか」相談実績

相談内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	占有率	占有率
労働相談	労働契約関係	6	8	14	6	6	11	51		11.4%
	賃金関係	10	12	23	14	8	8	75		16.8%
	労働時間関係	3	4	16	3	8	3	37		8.3%
	雇用関係	15	16	25	24	16	13	109		24.4%
	退職関係	2	4	8	2	5	6	27		6.1%
	保険・税金関係	1	8	2	2	5	1	19		4.3%
	安全・衛生関係	0	0	4	2	0	1	7		1.6%
	差別等関係	6	9	16	6	5	10	52		11.7%
	労働組合関係	0	1	1	3	0	1	6		1.3%
	その他	3	2	6	2	4	3	20		4.5%
小計		46	64	115	64	57	57	403	90.4%	
生活相談	介護・育児関係	0	0	0	0	1	1	2		0.4%
	消費生活関係	1	1	0	2	1	0	5		1.1%
	法律全般関係	3	1	1	1	2	3	11		2.5%
	共済・保障関係	0	0	0	0	0	1	1		0.2%
	年金・社会保険等関係	0	2	0	2	1	0	5		1.1%
	福岡在住外国人支援関係	0	0	0	0	0	1	1		0.2%
	シニアライフ支援関係	0	0	0	0	0	0	0		0.0%
	生活保護関係	2	2	1	0	1	1	7		1.6%
	差別・ハラスメント関係	0	1	3	0	0	2	6		1.3%
	その他	0	1	2	1	0	1	5		1.1%
小計		6	8	7	6	6	10	43	9.6%	
合計		52	72	122	70	63	67	446	100.0%	100.0%

年齢	70歳代	1	1	0	0	0	1	3	0.7%
	60歳代	3	9	16	7	6	4	45	10.1%
	50歳代	11	14	21	18	20	13	97	21.7%
	40歳代	15	17	28	22	15	15	112	25.1%
	30歳代	13	21	27	10	11	14	96	21.5%
	20歳代	6	5	12	8	8	12	51	11.4%
	不明	3	5	18	5	3	8	42	9.4%
合計		52	72	122	70	63	67	446	100.0%

性別	男性	24	41	70	47	39	33	254	57.0%
	女性	28	31	52	23	24	34	192	43.0%
合計		52	72	122	70	63	67	446	100.0%

生活なんでも相談ダイヤル

ライフサポートふくおか

日常生活の中で色々な悩みや不安が生じたとき、一緒になって問題解決をはかります。相談機関ネットワークを使つての専門的なアドバイスその他、各種施設やサービス等が利用できる情報の提供も行っています。

生活相談

労働相談

法律相談

相談受付／平日 10:00 ～ 17:00

※相談・取次は原則無料ですが専門家に相談する場合、別途料金がかかる場合がありますので、ご了承ください。
また、面談による相談は事前の予約が必要です。

電話 092-400-6215

労働相談専用ダイヤル 0120-154-052

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル1階

九州ろうきん全営業店・ローンセンターに AED(自動体外式除細動器)を設置

九州ろうきんでは、社会貢献活動の一環として、ご来店いただいたお客様に万が一の事態（心肺停止等）が発生した際に、迅速かつ効果的な救命措置を行うことを目的に、九州ろうきん 92 箇所の全営業店・ローンセンターに AED（自動体外式除細動器）を設置しました。

また、AED（自動体外式除細動器）の設置に併せまして、公共性の高い金融機関の社会的役割発揮へ向けて、お客様をはじめ身近な方の緊急時に、心肺蘇生を中心とした救命活動が躊躇なくできるよう、全職員の「普通救命講習」修了を目指して、積極的に講習の受講を推進します。

九州ろうきんは、お客様へのさらなるサービス向上に努め、地域・社会への貢献活動を行いながら、より親しみやすい福祉金融機関を目指してまいります。

つかえるろうきん みんなのろうきん **九州ろうきん**

九州ろうきん 検索
<http://kyusyu.rokin.or.jp/>



全労済の 自賠責共済

ZENROSAL NEWS
90c12A073

ご加入、
忘れていませんか？

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済（保険）への加入は、
自動車損害賠償保障法によって
義務づけられています。

自賠責共済（保険）に加入していない
車両は運行できません。

もし加入しないで自動車やバイクを
運行すると、法律により罰せられます。

自賠責共済でお支払いできる事故は、
ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、
他人を死亡させたりした場合です。

※ご自身のけが、相手の車の損害などは自賠責共済（保険）ではカバーできません。



マイカー共済

自動車総合補償共済

とあわせてのご加入を
おすすめします。

全労済は、営利を目的としない保障の生協
として共済事業を営み、組合員の皆さまの
安心とゆとりある暮らしをめざしています。
出資金をお支払いいただいて組合員に
なれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済福岡県本部 (福岡県労働者共済生活協同組合)
TEL 092-739-6100



2012年は
“国際協同組合年” です。



協同組合がよりよい
社会を築きます